

モデル記録1

国選弁護人選任請求等事件記録			
大阪地方裁判所第10刑事部			
事件番号	平成 23 年 (記) 10000 号		
被 疑 者 及 び 被 疑 事 件 等			
被 疑 者 山田太郎			
被疑事件 傷害			
勾留日等 平成 23 年 2 月 12 日			
勾留場所等 大阪府警察署留置施設			
請 求 者 等		弁 護 人	
<input checked="" type="checkbox"/> 被疑者 <input type="checkbox"/> 職権 <input type="checkbox"/> 職権発動を求める申立人		大阪 花子	
電話番号		電話番号	
保存始期	平成 年 月 日	保存終期	平成 年 月 日

別記様式第2-1号

(被疑者国選弁護・通常事件用)

国選弁護人選任請求書・資力申告書

裁 判 官 殿

※ 該当する箇所の□印にレ点を付け、必要事項を記入して作成してください。

(注意) 3(1)に記載した合計額の金額が50万円以上である場合には、この書面を提出して国選弁護人の選任を請求する前に、必ず、大阪弁護士会に対して、私選弁護人選任の申出を要する必要があります。

1 次の事件について、2に記載した理由により私選弁護人を選任することができないので、国選弁護人の選任を請求します。

事件名 (しょうがい)

2 理由

※ (2)ア又はイの□印にレ点を付けた場合で、大阪弁護士会から通知書を受け取っているときは、この請求書と一緒に提出してください。

- ☒ (1) 貧困のため
☐ (2) 平成 年 月 日、大阪弁護士会に対して、私選弁護人の選任を申し出たが、次の理由から選任することができなかったため
☐ ア 大阪弁護士会から弁護人となるようとする者の紹介を受けられなかった。
☐ イ 紹介された弁護士に弁護人の選任の申込みをしたが拒まれた。
☐ ウ いまだ大阪弁護士会から連絡がない。
☐ (3) その他の理由 (具体的に書いてください。)

3 資力申告

私の次の資産の合計額と内訳は、記載したとおりで間違いありません。

(注意) 裁判所又は裁判官の判断を誤らせる目的で、その資力について虚偽の記載をした場合は、10万円以下の過料に処せられることがあります。

(1) 合計	(金額 約 15000 円)
(2) 内訳	
現金	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 → 金額 約 10000 円)
金融機関に対する預貯金	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 → 金額 約 円)
社内預金等	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 → 金額 約 円)
金融機関の自己宛小切手	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 → 金額 約 円)
郵便為替	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 → 金額 約 円)

※ 金融機関に対する預貯金とは、預金のほか、郵便貯金又は信託協同組合、農協同組合連合会、漁業協同組合、漁業協同組合連合会、水産加工業協同組合若しくは水産加工業協同組合連合会に対する貯金のことです。

※ 社内預金等とは、使用者 (船員の場合は船舶所有者) に対する貯蓄金又は公務員共済組合、公務員共済組合連合会若しくは日本私立学校振興・共済事業団に対する貯金のことです。

平成 23 年 2 月 11 日

氏 名 山田太郎 印
(S 45 年 6 月 19 日生)

※ 以下の欄は、留置担当官が記入

- 1 添付書類 ☐ 勾留状の写し ☐ 不在・不受任通知書
 2 取調べ担当検察官所属の検察庁
 3 留置・収容場所 大阪府警察署
 4 国籍 官語
 5 他事件での国選弁護人選任の有無 ☐ 無 ☐ 有 (弁護人名)

日本司法支援センター大阪地方事務所のファックス受付時間
午前9時00分～午後5時00分

裁判官認印



国選弁護士候補指名通知依頼書

日本司法支援センター大阪地方事務所 御中		大阪地方裁判所	
進行番号	(支援センター記載欄につき記入不要)	通知回答期限	依頼日の翌日
依頼日 平成 23 年 2 月 12 日		依頼日	平成 23 年 2 月 12 日
被疑者	山田太郎	生年月日	昭和 45 年 6 月 19 日生
		勾留場所	大阪府 警察署留置施設
事件	勾留日	番号	事件名
平成 23 年 2 月 12 日	平成 23 年(記)第 1000 号	傷害	
国選弁護士選任請求の別	<input checked="" type="checkbox"/> 刑事訴訟法第37条の2	<input type="checkbox"/> 刑事訴訟法第350条の3第1項	
		同意確認を求めた検察官 検察庁 検察官	
連絡事項			

国選弁護士候補指名通知書

国選弁護士候補	氏名		
	住所又は事務所	〒	
	TEL	FAX	
	所属弁護士会名	弁護士会	
	総合法律支援法第39条第2項に掲げる国選弁護士候補の別	<input type="checkbox"/> 総合法律支援法第39条第2項第1号 <input type="checkbox"/> 総合法律支援法第39条第2項第2号	

勾留等請求日 平成 23 年 2 月 12 日 被疑者 山田太郎

3

被疑者用

勾 留 状

被疑者	住居	大阪市 区 丁目 番
	職業氏名	大阪市営 住宅 棟 号室 山田太郎
被疑者		昭和 45 年 6 月 19 日 生
被疑事実の要旨		別紙のとおり
被疑者に対する		傷害 被疑事件
について、被疑者を		大阪府 警察署留置施設 に勾留する。
刑事訴訟法60条1項各号に定める事由		裏面のとおり
この令状の有効期間は発付の日から7日とする。有効期間経過後は、その執行に着手することができない。この場合には、これを当裁判所に返還しなければならない。		
平成 23 年 2 月 12 日 大阪地方裁判所 裁判官 山田太郎		
勾留請求の年月日時		上記勾留状発付の日
執行した年月日時及び場所		平成 年 月 日 午 時 分
記名押印		
執行することができなかったときはその事由		
記名押印		平成 年 月 日
勾留した年月日時及び取扱者		平成 年 月 日 午 時 分

H22. 7. 10.000 (被疑者用)

4

日本司法支援センター大阪地方事務所のファックス受付時間
午前9時00分～午後5時00分

裁判官印



国選弁護人候補指名通知依頼書

大阪地方裁判所

日本司法支援センター大阪地方事務所 御中 (大阪センター2階2号記入不要)		依頼日の曜日		依頼日	平成 23 年 2 月 12 日
進行番号	通知回答期限	依頼日の曜日	依頼日	平成 23 年 2 月 12 日	
被疑者	山田 太郎		生年月日	昭和 46 年 8 月 19 日生	勾留場所 大阪府警署警署留置施設
事件	勾留日	番 号	事件名		
平成 23 年 2 月 12 日	平成 23 年(記)第 0000 号	警告			
国選弁護人選任請求の別	<input checked="" type="checkbox"/> 刑訴法第37条の2 <input type="checkbox"/> 刑訴法第350条の8第1項 同意請求を求めた検察官 検察官				
送附事項	<div style="background-color: black; width: 100px; height: 50px; margin: 0 auto;"></div>				

国選弁護人候補指名通知書

氏名	大阪 花子 (おおさかの はなこ)	
住所又は事務所	〒 530-0047 大阪市北区西天満・・・中2島ビル 弁護士法人・・・法律事務所 TEL 06-63 - FAX 06-63 -	
所属弁護士会名	大阪 弁護士会	
総合法律支援法第39条第2項に附ける国選弁護人候補弁護士の別	<input checked="" type="checkbox"/> 総合法律支援法第39条第2項第1号 <input type="checkbox"/> 総合法律支援法第39条第2項第2号	

勾留申請済日 平成 23 年 2 月 12 日 被疑者 山田太郎

平成23年2月12日

ファクシミリ送信書 (被疑者事件用)

大阪地方 裁判所
支部
令状部
裁判所書記官 殿

日本司法支援センター大阪地方事務所
国選弁護課 ●●
電話
FAX

平成 23 年 (記) 第 0000 号 国選弁護人選任請求事件
(被疑者 山田太郎) について、下記文書を送付します。

記

1 指名通知書 1通

以上

※なお、交付された際は、速やかに下記の受領書を返信していただきますようお願いいたします。

受 領 書 (被疑者事件用)

日本司法支援センター 大阪地方事務所
国選弁護課 ●● 殿

上記文書正に受領しました。

以上

(裁判所受領印)





平成 23 年 (記) 第 10000 号

国 選 弁 護 人 選 任 書

大阪弁護士会所属
弁 護 士 大 阪 花 子
上記の弁護士を被疑者 山 田 太 郎 に対する
傷害 被疑事件の国選弁護人に選任する。

平成 23 年 2 月 12 日

大阪地方裁判所

裁 判 官 [Redacted]

即日検察官・被疑者に通知済み	(印)
即日司法支援センターに通知済み	(印)

平成 23 年 (記) 第 10000 号

国 選 弁 護 人 選 任 通 知 書

平成 23 年 2 月 12 日

大阪地方 (区) 検察庁 検察官 殿
被疑者 山 田 太 郎 殿
日本司法支援センター大阪地方事務所 御中

大阪地方裁判所

裁判所書記官

天満 (内線) 印

被 疑 者 山 田 太 郎
勾留場所等 大阪府 [Redacted] 警察署留置施設

上記の者に対する 傷害 被疑事件
について、別紙国選弁護人候補指名通知書記載の弁護士が国選弁護人に選任されたから通知します。

勾留等請求日 平成 23 年 2 月 12 日

相手先 画質モード 開始日時 時間 枚数 備考 結果 詳細



平成 23 年 (記) 第 10000 号

国選弁護士選任通知書

平成 23 年 2 月 12 日

大阪地方 (区) 検察庁 検察官 殿
被疑者 山田太郎 殿
日本司法支援センター大阪地方事務所 御中

大阪地方裁判所

裁判所書記官 天満 (内線)

被疑者 山田太郎
勾留場所等 大阪府警署西淀施設

上記の者に対する

被害

被疑事件

について、別紙国選弁護士候補指名通知書記載の弁護士が国選弁護士に選任されたから通知します。

勾留等終了日 平成 23 年 2 月 12 日

平成 23 年 (記) 第 10000 号



請 書

被疑者 山田太郎 に対する

国選弁護士選任書

上記のとおりお請けします。

平成 23 年 2 月 14 日

事務所 (所在地)

〒520-0047 大阪市北区西天満...
中さくらビル

電話

電話 [] FAX []

FAX

弁護士

弁護士 太田 花子
(大阪弁護士会所属)

- ☒ 大阪地方裁判所第10刑事部 御中
☐ 大阪簡易裁判所令状係 御中
☐ 大阪地方裁判所堺支部令状部 御中
☐ 堺簡易裁判所 御中
☐ 岸和田簡易裁判所 御中

総合法律支援法第39条2項に掲げる国選弁護士契約弁護士の別

☒ 総合法律支援法第39条第2項第1号
☐ 総合法律支援法第39条第2項第2号

モデル記録2

国選弁護人選任請求等事件記録			
大阪簡易裁判所令状係			
事件番号	平成 23 年 (記) 第 20000 号		
被 疑 者 及 び 被 疑 事 件 等			
被 疑 者 山 川 太 郎			
被疑事件 盗品等処分あっせん			
勾 留 日 平成 23 年 2 月 3 日			
勾留場所 大阪府 警察署留置施設			
請 求 者 等		弁 護 人	
<input checked="" type="checkbox"/> 被疑者 <input type="checkbox"/> 職権 <input type="checkbox"/> 職権発動を求める申立人		山 川 一	
電話番号		電話番号	
保存始期	平成 年 月 日	保存終期	平成 年 月 日

別記様式第2-1号

(被疑者国選弁護・通常事件用)

国選弁護人選任請求書・資力申告書

裁 判 官 殿

※ 該当する箇所の□印にレ点を付け、必要事項を記入して作成してください。

(注意) 3(1)に記載した合計額の金額が50万円以上である場合には、この寄附を提出して国選弁護人の選任を請求する前に、必ず、大阪弁護士会に対して、私選弁護人選任の申出をする必要があります。

1 次の事件について、2に記載した理由により私選弁護人を選任することができないので、国選弁護人の選任を請求します。

事件名 盗品等処分あっせん

2 理由

※ (2)ア又はイの□印にレ点を付けた場合で、大阪弁護士会から通知書を受け取っているときは、この請求書と一緒に提出してください。

- ☐ (1) 貧困のため
- ☒ (2) 平成 23 年 2 月 3 日、大阪弁護士会に対して、私選弁護人の選任を申し出たが、次の理由から選任することができなかったため
- ☐ ア 大阪弁護士会から弁護人となろうとする者の紹介を受けられなかった。
- ☒ イ 紹介された弁護士に弁護人の選任の申込みをしたが拒まれた。
- ☐ ウ いまだ大阪弁護士会から連絡がない。
- ☐ (3) その他の理由 (具体的に書いてください。)

3 資力申告

私の次の資産の合計額と内訳は、記載したとおりで間違いありません。

(注意) 裁判所又は裁判官の判断を誤らせる目的で、その資力について虚偽の記載をした場合は、10万円以下の過料に処せられることがあります。

(1) 合計	(金額 約 60万 円)	
(2) 内訳	現金	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 → 金額 約 60万円(円)
	金融機関に対する預貯金	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 → 金額 約 円(円)
	社内預金等	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 → 金額 約 円(円)
	金融機関の自己宛小切手	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 → 金額 約 円(円)
	郵便為替	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 → 金額 約 円(円)

※ 金融機関に対する預貯金とは、預金のほか、郵便貯金又は農業協同組合、農業協同組合連合会、漁業協同組合、漁業協同組合連合会、水産加工業協同組合若しくは水産加工業協同組合連合会に対する貯金のことです。

※ 社内預金等とは、使用者(船員の場合は船舶所有者)に対する貯蓄金又は公務員共済組合、公務員共済組合連合会若しくは日本私立学校振興・共済事業団に対する貯金のことです。

平成 23 年 2 月 9 日

氏 名 山 川 太 郎 印
(昭和 30 年 5 月 28 日生)

※ 以下の欄は、留置担当官が記入

- 1 照付書類 ☒ 勾留状の写し ☒ 不在・不受任通知書
- 2 取調べ担当検察官所属の検察庁
- 3 留置・収容場所 大阪府 警察署
- 4 国籍 官 隔
- 5 他事件での国選弁護人選任の有無 ☐ 無 ☐ 有 (弁護人名)

日本司法支援センター大阪地方事務所のファックス受付時間
午前9時00分～午後5時

裁判官認印

国選弁護士候補指名通知依頼書

日本司法支援センター大阪地方事務所 御中		大阪簡易裁判所	
進行番号	(支援センター記載欄につき記入不要)	通知回答期限	依頼日の翌日
依頼日	平成23年2月3日	依頼日	平成23年2月3日
被疑者	山川太郎	生年月日	昭和30年5月28日生
勾留場所	大阪府警察署留置施設	通訳言語	語
事件	平成23年2月3日 平成23年(記)第2000Q号	事件名	盗品等処分あっせん
国選弁護士選任請求の別	刑事訴訟法第37条の2	同意確認を求めた検察官	検察官
連絡事項	2月22日まで勾留延長		

国選弁護士候補指名通知書

氏名	〒
住所又は事務所	TEL FAX
所属弁護士会名	弁護士会
総合法律支援法第39条第2項に掲げる国選弁護士候補の別	<input type="checkbox"/> 総合法律支援法第39条第2項第1号 <input type="checkbox"/> 総合法律支援法第39条第2項第2号

勾留日 平成23年2月3日 被疑者 山川太郎

平成23年2月3日

大阪弁護士会 御中

大阪(口地方 口家庭 口簡易)裁判所
裁判所書記官

要通訳の場合(言語)

語/国語等

被疑者氏名 山川太郎
(昭和30年5月28日生)(男・女)
私選弁護士選任申出通知書

被疑者に対する下記の被疑事件について、被疑者から私選弁護士選任の申出があったので通知します。

- 1 罪名・罰・条 盗品等処分あっせん
- 2 収容施設 ☐
- 3 送致警察等 ☐
- 4 勾留日 平成23年2月3日 ☐ 弁護士会に対する留中処分済

(以下は、弁護士会が通知をする際に記入する欄です。)

平成23年2月10日

申出人 殿
☐ 地方裁判所 支部 御中
☐ 家庭
☒ 簡易



通知書

- 貴取からの上記の私選弁護士選任申出について、レ印を記した事項を通知します。
- ☒ 当弁護士会は、申出人に対し、申出人の弁護士となろうとする者として、~~XXXXX~~ 弁護士を紹介しましたが、弁護士が申出人からの私選弁護士選任の申込みを拒みました。
 - ☐ 当弁護士会には、申出人の弁護士となろうとする者がいませんでした。
 - ☐ 弁護士が私選弁護士として選任を受けました(受ける予定です。)

1956

被疑者用

勾 留 状

被疑者	住居 職業 氏名	大阪府東大阪市・・・町・番・号 山川 太郎 昭和 30 年 5 月 28 日 生	指揮印 [印] 延長
被疑事実の要旨		別紙のとおり	延長
被疑者に対する について、被疑者を		盗品等処分あっせん 被疑事件 に勾留する。	
刑事訴訟法 60 条 1 項 各号に定める事由		裏面のとおり	
この令状の有効期間は発付の日から 7 日とする。有効期間経過後は、その執行に着手することができない。この場合には、これを当裁判所に返還しなければならない。			
平成 23 年 2 月 3 日 大阪府 裁判所 裁判官 [印]			
勾留請求の年月日		上記勾留状発付の日	
執行した年月日時 及び場所		平成 23 年 2 月 3 日 午後 0 時 53 分 大阪地方法検察庁	
記名押印		[印] 司法書士 山川 太郎	
執行することが できなかったときは その理由			
記名押印		平成 年 月 日	
勾留した年月日時 及び取扱者		平成 23 年 2 月 3 日 午後 1 時 30 分 大阪府 検察庁 捜査課 [印]	

B22.7. 10,000 (被疑者用)

597 134

刑事訴訟法 60 条 1 項各号に定める事由

下記の 1. 2. 3 号に当たる。

- 1 被疑者が定まった住居を有しない。
- 2 被疑者が罪証を隠滅すると疑うに足る相当な理由がある。
- 3 被疑者が逃亡し又は逃亡すると疑うに足る相当な理由がある。

勾 留 期 間 の 延 長

延長の期間 平成 年 月 日まで	延長の期間 平成 年 月 日まで
理由	理由
平成 年 月 日 裁判所 裁判官	平成 年 月 日 裁判所 裁判官
勾留状を検察官に交付した年月日	勾留状を検察官に交付した年月日
平成 年 月 日 裁判所書記官	平成 年 月 日 裁判所書記官
勾留状を被疑者に示した年月日時	勾留状を被疑者に示した年月日時
平成 年 月 日 午 時 分 警察署 刑事施設職員	平成 年 月 日 午 時 分 警察署 刑事施設職員

被告事実の要旨

被疑者は、氏名不詳が窃取してきた第一種原動機付自転車1台（探偵番号●●市
ま●●●，車台番号AF●一●●●●●）を盗品と知りながら、車台番号
を変造若しくは車台番号が刻印されたフレーム等を取り外し、これを被疑者が持参
した別のフレーム等に組み替える等の方法により、正規の第一種原動機付自転車と
して変更させた上、平成22年11月24日ころインターネットの●●市
●●に出品し、同第一種原動機付自転車を同月25日午後8時ころ大阪府●●市
●町●番●号●●●●●町駐車場内において、●●●●●に対し、これを代金7
万円で売却のあつせんをし、もって盗品の有償処分のあつせんをしたものである。

日本司法支援センター大阪地方事務所のファックス受付時間
午前9時00分～午後5時

聚利豐

國選并護人候補指名通知依頼書

日本司法支庁センター大阪地方事務所 国中				大阪簡易裁判所	
進行番号		(支庁センター配属第二号記入不要)		依頼日の曜日	
検視番号		通知回答期限		依頼日 平成23年2月24日	
被疑者 山川 太郎				昭和30年5月28日生	
				勾留場所 大阪府警捜査留置施設	
勾留日		番 号		事件名	
平成 23 年 2 月 3 日		平成 23 年(記)第20000号		盗品等処分あつせん	
国連弁護人選任 請求の別		刑事訴訟法第37条の2		<input type="checkbox"/> 刑事訴訟法第360条の3第1項	
				同意確認を求めた検察官 検察庁 検察官	
連絡事項		2月22日まで勾留延長			

國選弁護人候補指名通知書

氏名	從川 一 (よしかわ ひとし)
住所又は事務所	〒 541-0046 大阪市・区・町・一・ ・・法律事務所 淀屋橋
	TEL 06- 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 FAX 06- 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1
所属弁護士会名	大阪 弁護士会
総合法律支援法第30条第2項に掲げる国選弁護人契約弁護士の場合	<input checked="" type="checkbox"/> 総合法律支援法第30条第2項第1号 <input type="checkbox"/> 総合法律支援法第30条第2項第2号

勾当日 平成 23 年 2 月 3 日 敬啓者 山川太郎



平成 23 年 (記) 第 20000 号

国 選 弁 護 人 選 任 書

大阪弁護士会所属

弁 護 士

山 川 太 郎

上記の弁護士を被疑者

山 川 太 郎

に対する

盗品等処分あっせん

被疑事件の国選弁護人に選任する。

平成 23 年 2 月 12 日

大阪簡易裁判所

裁 判 官

[Redacted]

即日検察官・被疑者に通知済み	(F)
即日司法支援センターに通知済み	(F)

平成 23 年 (記) 第 20000 号

国 選 弁 護 人 選 任 通 知 書

平成 23 年 2 月 12 日

大阪地方 (区) 検察庁

検 察 官

殿

被疑者 山 川 太 郎

殿

日本司法支援センター大阪地方事務所

御 中

大阪簡易裁判所

裁判所書記官

●●●●

(内線)

被 疑 者 山 川 太 郎

勾留場所等

[Redacted]

上記の者に対する

盗品等処分あっせん

被疑事件

について、別紙国選弁護人候補指名通知書記載の弁護士が国選弁護人に選任されたから通知します。

勾留等請求日 平成 23 年 2 月 3 日

• [REDACTED]

詳細

國遇奔獲人候精

勾当日 平成 23 年 2 月 3 日 教員 山内 太郎

大阪地方（区）検察庁	検察官	殿
被疑者 山川 太郎		殿
日本司法支援センター大阪地方事務所		御中

(內款)

勾留場所等

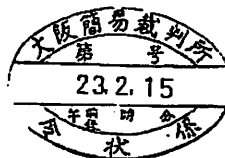
上記の者に対する 盗品等処分をせんと 被疑事件

について、別紙国選弁護人候補指名通知書記載の弁護士が国選弁護人に選任されたから通知します。

勾留等請求日 平成 24 年 2 月 3 日

平成 23 年 (記) 第 20000

号



請 書

被疑者 山川太郎 に対する

国選弁護人選任書

上記のとおりお請けします。

平成 23 年 2 月 15 日

事務所 (所在地)

電話

〒541-0046 大阪市中央区東船場 4-1-1
流屋橋

FAX

TEL:06-664-1111 FAX:06-664-1112

弁護士 定川 一

(大阪弁護士会所属)

- ☐ 大阪地方裁判所第10刑事部 御中
- ☒ 大阪簡易裁判所令状係 御中
- ☐ 大阪地方裁判所堺支部令状部 御中
- ☐ 堺簡易裁判所 御中
- ☐ 岸和田簡易裁判所 御中

〔総合法律支援法第39条2項に掲げる国選弁護人契約弁護士の別〕

■総合法律支援法第39条第2項第1号
□総合法律支援法第39条第2項第2号